

ぽぽデイだより NO.126 令和5年8月号

社会福祉法人 ほっとスマイル
ぽぽデイ名塩駅前 669-1133 西宮市東山台 1-1(1階) TEL0797-62-1165

施設長より

児童発達支援の子どもさんたちは、午前中の時間を少人数のグループで過ごしています。ぽぽデイだよりにみられるように、遊びの内容は、保育園と大きな違いはありません。しかし、個々へのサポートの中身と、少人数ゆえの生活のしやすさが、保育園こども園と明らかに違うところです。手前みそで恐縮ですが、言語聴覚士の職員は、他の施設でも勤務している経験から、「ぽぽデイはとてもきめ細やかで丁寧。質の高い療育(保育)を行っている。」と職員の対応を褒めてくれました。言語の発達を期待してこども園と並行通園されている子どもさんも、ぽぽデイでは、「誰が話している」「誰に伝える」がわかりやすくなり、通園当初と比べて格段に話す場面が増え、こども園でも自信をもって話す姿が見られるようになりました。職員の言葉がけも決して多くはなく、むしろ子どもさんが話したい、伝えたいというタイミングを大事に、待っています。そして、どんなつぶやきも逃さないように、丁寧に応対します。子どもさんの気持ちの表出を、さりげなく正しい発音や言葉で復唱して認めます。言語聴覚士とは一対一の遊びの時間を取りますが、それを日常の遊びや生活の中で同じような条件や場面の時に同じようにできるように意識して取り組んでいます。また、一対一の療育(保育)でないがゆえに、対人関係や集団での生活スキルを学ぶ場でもあります。

登園する、挨拶をする、持ち物を所定の場所に仕舞う、朝の集まりに参加する、遊びの説明や今日のなどの話を聞く、順番などのルールを知る、ルールを守る、使ったものを片付ける、などの集団生活でのスキル。友達を真似る、友達に交渉する、大人に手伝ってほしいことを要求する、自分の気持ちを伝える、相手の気持ちと自分の気持ちの違いに気づく、要求が通らないときに自分の気持ちに折り合いをつける…などなどの対人関係スキル。それぞれの子どもの発達に応じて今できることは違いますが、数え上げればきりがないほど、ぽぽデイの生活の中で学んでいることがあります。その後ろ盾として、ベテランの職員が一人ひとりと結んだ信頼の絆があります。ただ現在の小学校に上手く適応するためだけではなく、少しでも成長に寄与し、自己決定の幅を広げて欲しいというのが私たちの願いです。

そして、矛盾するようですが、ぽぽデイでの時間が子どもたちにとって楽しい充実したものであること。子どもは将来を生きるために今があるのではなく、「今を生きている」。国連で子どもが主張した言葉を忘れないようにしたいと思います。「楽しかった！」ばかりではなく葛藤のある日もあります。「また行きたい！」と思ってくれることが、一番の子どもの評価です。この夏も頑張ります。

児童発達支援 いちご組

『何が始まるんだろう』(石鹸が)『どうなるんだろう』と、興味いっぱいの表情、不思議な表情、見逃さな

いように、真剣なまなざし…をたくさん届けてくれた『泡実験あそび』。固形石鹸を手にとって触り、においを感じ、そして、その固形石鹸を、お子様たちの目の前で、おろし金で削り、小さな小さな粉になる工程と一緒に、じっくり観察しました。ボウルに移し少しずつ水を注いで、かき混ぜて、クリームのような泡の完成です。工程の中での、1人ひとりのお子様の表情が、とても輝き、楽しい時間を共有できたと感じております。カブトムシの観察も始まりました。得意なお子様、ちょっぴり怖くて苦手なお子様、それぞれのタイミング、距離感で存在を楽しんでいるようです。

膝のクッションやタイミングを計ってのジャンプ、体のバランスを保ちながらの一本道、ストップとスタートを繰り返しながら、体を動かすあそび…粗大あそび、形が色々変化する粘土や水などの感触あそびを、引き続き、この8月も一緒に楽しんでいきたいと思っております。休息と水分補給を、しっかり取り入れながら、健康に過ごしていきたいと思っております。

放課後等デイサービス

とても暑い夏休みですが、お子さんは毎日元気な顔でぼぼデイへ来てくれます。ぼぼデイへ早く来て、たっぷりの時間を楽しみにしてくれているお子さんがいることを嬉しく思います。ぼぼデイに行ったらこれをして遊ぼう。ぼぼデイに行ったらこの友だちと遊ぼう、、、とやりたいことを考えて来てくれるお子さんもいます。いろいろなお友達が集まって1つの部屋で過ごしながら、人との関わりを大切にしていってほしいと思っております。

8月7日からは、希望する人には水遊びをしてほしいと考えています。水につかるのはすねまでくらいですが、水てっぽうでの的当てをするなど、水しぶきが飛ぶこともありますので、水遊びをされる方はタオルや着替えをご持参ください。

ぼぼデイで過ごした時間も、思い出に残る夏休みのひとつにしたいと思っております。



スタッフの一言

とても暑い夏休みですね。今年はお出かけの機会も増えて、いろいろな経験をされている事と思います。ぼぼデイでの遊びにおいても回を重ねる度に上手になっておられます。

私も制作やブロック、レゴ等で面白い作品が出来たらいいなと日々思っています。

岸田

暑さが厳しく、酷暑という日が続いていますが、そんな中でも子ども達は元気に来てくれます。熱中症などに気をつけながらお部屋の中でゴム跳びや棒跳びあそびをしました。みんな楽しそうで、とても盛り上がりました。子どもたちの興味・成長に合わせて楽しく過ごせるように関わっていききたいと思っております。

佐渡本